

## 令和元年度「文化庁日本語教育大会・東京大会」

### 1 目的

日本語教育に関するシンポジウム及び報告会等を開催し、日本語教育に対する理解の増進を図り、もって、日本語教育の充実と推進に資する。

### 2 主催

文化庁

### 3 対象

- ・ ボランティア団体、NPO法人等の地域における日本語学習支援者
- ・ 大学・専修学校・各種学校、日本語教育機関・施設の教職員・研究者、学生
- ・ 地方公共団体（教育委員会を含む。）、国際交流協会職員
- ・ 小・中・高等学校等の教職員
- ・ 外国人を雇用している事業関係者
- ・ 外国人住民及び日本語学習者
- ・ その他、日本語教育に関心を持つ者

### 4 開催内容

○開催日 令和元年9月7日（土）、8日（日）

○会場 文部科学省（東京都千代田区霞が関3-2-2）

○テーマ 見せましょう！日本語教師の底力～広がる日本語教育と人材の活躍の場～

昨今、改正入管法の施行や「外国人材受入れのための総合的対応策」の公表、更には「日本語教育の推進に関する法律」の成立などの新たな動きが矢継ぎ早に進み、日本語教育関係者にとって大きな変化が訪れている。これらを受けて、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会では、日本語教育能力の判定及び日本語教育の標準についての検討が行われ、日本語教育も新たな展開を迎えようとしている。

このような状況を踏まえ、1日目には、各省庁による日本語教育に関連する施策の説明を行うとともに、現在議論が進められている日本語教育の標準についてパネルディスカッションを実施する。

2日目には、これから日本語教育分野で働くことを目指す人が、様々な日本語教育の分野で活躍している先輩から直接話を聞く場を設けるとともに、様々な文化庁事業の実施団体から日本語教育人材養成・研修や地域日本語教育に関する報告を行う。併せて、日本語教育において関心が高いテーマについて実践報告を行い、現場での課題解決に向けた情報共有を行う。

#### ○申込

1日目：不要

2日目：以下のとおり。

- ・ 「日本語教育人材のキャリアパス～現場で活躍する先輩に直接聞いてみよう！」  
：前日のプログラム終了後、会場で申込み
- ・ 「日本語教育テーマ別実践報告会」：事前申込（ウェブサイト上の参加フォーム又はFAX）
- ・ 「文化庁日本語教育事業 パネル展」「文化庁日本語教育事業 説明会」  
「IT・通信による日本語教育～ちょっとのぞいて触ってみよう！～」：不要

○構成・内容

第1日目 9月7日(土)	
時間	内容
13:00 ～ 13:10	開催挨拶 (文化庁)
13:10 ～ 14:15	日本語教育に関連する外国人施策等について (関係省庁)
14:15 ～ 14:35	文化審議会国語分科会日本語教育小委員会の審議状況の説明
14:35 ～ 14:50	休憩
14:50 ～ 15:20	<p style="text-align: center;">空白地域における日本語教室設置とコーディネーターの役割 ～石川県中能登町における日本語教室空白地域解消推進の取組から～</p> <p style="text-align: center;">福永 理夏 (中能登町教育委員会) 今井 武 (公益財団法人石川県国際交流協会)</p>
15:20 ～ 17:00	<p style="text-align: center;">パネルディスカッション 最近よく聞くCEFRって、何のこと?～日本語教育における活用を考える～</p> <p>現在、文化審議会国語分科会日本語教育小委員会では、「論点3 日本語教育の標準」について議論し、日本版CEFR(仮称)の策定に向けた検討を行っている。国内の日本語教育の各分野では既に「ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)」を参考に、スタンダードや参照枠を作成したり、CEFRの理念を参考とした教育実践が行われたりしているが、一般的にはまだ十分に理解されているとは言えないのではないだろうか。CEFRや日本語能力に対する理解を深めていただけるよう、各分野の事例を紹介するとともに、今後の検討に向けた意見交換を行う。</p> <p style="text-align: center;">進行: 松岡 洋子 (岩手大学) 報告: 大木 充 (京都大学名誉教授)       築島 史恵 (独立行政法人国際交流基金日本語国際センター)       金田 智子 (学習院大学)</p>
17:00 ～ 17:15	閉会

第2日目 9月8日(日)	
時間	内 容
10:00 ～ 12:00	<p>①「日本語教育人材のキャリアパス～現場で活躍する先輩に直接聞いてみよう！」 ※前日のプログラム終了後、会場で申込みを受付</p> <p>②文化庁日本語教育事業 パネル展（日本語教育人材養成・研修カリキュラム開発等事業、地域日本語教育実践プログラム、地域日本語教育スタートアッププログラム）</p>
12:00 ～ 13:30	<p>文化庁日本語教育事業 説明会（12:00～13:00） 「IT・通信による日本語教育～ちょっとのぞいて触ってみよう！～」（12:00～13:30）</p>
13:30 ～ 15:30	<p><b>日本語教育テーマ別実践報告会</b> ※要事前申込み</p> <p>【第1分科会】Can-do Statements から始まるこれからの学習，評価，そして実践 ～介護，就労，「生活者としての外国人」に対する活用事例から～ 進行：島田 めぐみ（日本大学大学院） 報告：西郡 仁朗（首都大学東京） 谷山 慎一（学校法人服部学園 YAMASA 言語文化研究所） 入江 友理（名古屋大学 とよた日本語学習支援システム）</p> <p>【第2分科会】新時代を前に今語ろう，日本語教育の「あの時」 ～日本語教育の転換期をひも解く～ 進行：田中 祐輔（東洋大学） 報告：田中 久光（株式会社凡人社） 尾崎 明人（名古屋大学/名古屋外国語大学名誉教授） 春原 憲一郎（公益財団法人京都日本語センター京都日本語学校） 奥田 純子（コミュニケーション学院）</p> <p>【第3分科会】地域日本語教育において何を「体制」と呼び，どう整備するか ～行政と専門家の連携から見る今後の展開への示唆～ 進行：土井 佳彦（NPO 法人多文化共生リソースセンター東海） 報告：遠藤 知佐（公益財団法人兵庫県国際交流協会） 辰野 聡（長野県県民文化部国際課） 藤井 美香（公益財団法人横浜市国際交流協会）</p>
15:30 ～ 15:45	休憩・移動
15:45 ～ 16:30	テーマ別実践報告会報告・総括
16:30	閉会